

## サムポストスプリント 作成手順資料

パシフィックサプライ(株)  
事業開発本部

## サムポストスプリント(短対立装具)

### 目的

- 把持肢位を整える
- ウェブスペースの確保
- 筋緊張の軽減

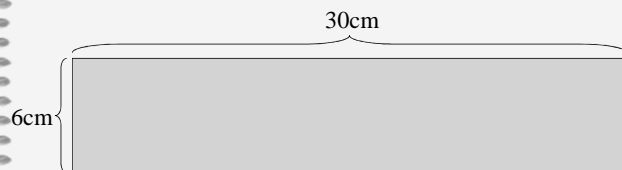


### その他適応

- 正中神経麻痺
- 軽度の片麻痺の把持肢位  
保持・訓練用 など

## ①型紙の作成

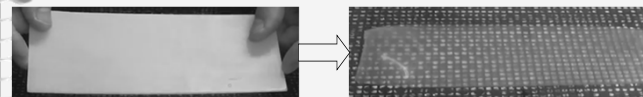
シートを6cm×30cmにカットする。個人の手の大きさ、指関節まで覆う場合は幅や厚みを調整する。



## ②シートを温める

1. シートをお湯(65°C~)の中に入れる
2. シートが完全にやわらかくなる(=モールドできる状態になる)まで待つ

取り出す時間の目安(65°Cのお湯)  
オルフィットソフト・ソフトNS・アクアフィット: **透明**  
そのほかのシート: 約3分後



後ろのヒートパンライナーが見えるまで!

### ③シートを取り出す

1. お湯でセラピスト・患者様の手と腕を湿らす。

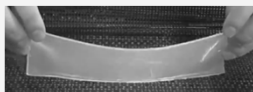
- ・やけどを引き起こす可能性
- ・拘縮・痙縮が強くなる
- ・シートがはがれにくくなる



2. シートを取り出す  
ヒートパンライナーを上げてお湯から出す。両手で持つとシートの誤接着を抑えられる



3. 机の上やふたの裏の冷たい水滴をつけて表面を冷やす  
タオルだと手や机に付着する



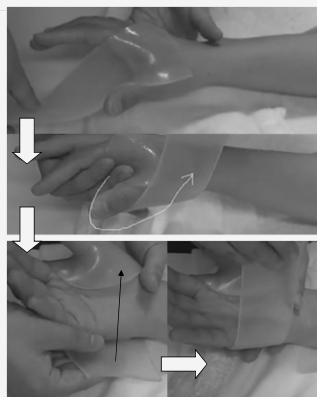
### ④手のポジショニング

- ・患者様の負担軽減、作りやすさや出来等を左右する
- ・患者様が取りやすい肢位でスプリント作製練習(片麻痺:肩屈曲内旋・前腕回内・肘手関節指屈曲、腕は体幹の正面等)
- 作製前に指の伸展ストレッチ(手動・フィンブル等)
- 枕やタオルでポジション調整する
- 小さい移動式の机を使い、スプリントを作りやすい場所へ移動する
- 緊張が強いと臥位で作るケースあり



### ⑤モールド

1. シートの端の角を指でつぶして平らにする
2. 母指から、背側を通過して対立部分を覆い母指を一周させる
3. 背側から尺側を通り、母指球掌側でシートを重ねる
4. 母指+小指の対立アーチを作る
5. 環指長軸でカット・取り外す



### ⑥チェックポイント

1. 手関節の動きが妨げられていないか
2. 母指IPの動きが妨げられていないか
3. 四指MPの動きが妨げられていないか
4. 把持肢位がとれているか

## ⑦トリミング

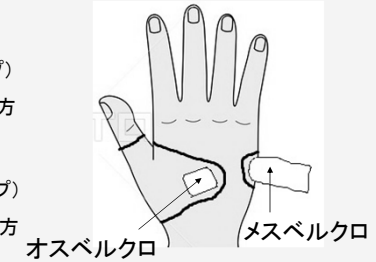
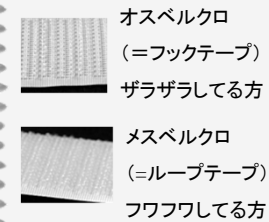
近位・遠位手掌皮線を  
結んだ線の5mm下

中手骨頭にぶつからない



## ⑧ベルクロ取付

1本取り付ける。片手で装着できるように、とう側にオス、尺側にメスベルクロを付ける



## ⑧ベルクロ取付

1. オスベルクロを長さ3cm,メスを適当な長さに切る。縁は丸くカットする。
2. オスベルクロが付く部分のシートの表面をヒートガンで3~5秒程温め、貼り付ける  
※表面に光沢ができ、触ると少しぺたぺたするまで温める。
3. メスベルクロも同様に行う  
表裏間違えないよう注意!



蛍光灯がくっきり見えるまで温める



表面を指で触ってくつき確認

## オスベルクロ接着方法 (自着性ベルクロが無い場合)

- 1、オスベルクロを目的の長さ+1cmの長さでカットする
  - 2、裏返して、両端を5mmほど折る
  - 3、浮いた部分は接着剤などで止める
  - 4、再度裏返し、シートをヒートガンで軽くあぶり、オスベルクロを接着させる
- 端部分に凹凸ができるため、通常通りカットして貼るよりはがれにくくなる

